

2011年10月29日

## ディケンズ・フェロウシップ日本支部

# ニュースレター

10月15日の秋季総会で新しい支部長の選任、ならびに理事の一部改選が行われましたので、フェロウシップの新体制について先ず、以下の通り、ご報告いたします。

佐々木徹（京都大学）：支部長  
新野 緑（神戸市外国語大学）：副支部長  
青木 健（成城大学）：理事（監事）  
玉井史絵（同志社大学）：理事（財務担当）  
要田圭治（広島大学）：理事  
武井暁子（中京大学）：理事  
田中孝信（大阪市立大学）：理事  
榎 正行（中京大学）：理事  
松岡光治（名古屋大学）：理事（Net 担当）  
松本靖彦（東京理科大学）：理事

これから3年間このメンバーを中心にフェロウシップの運営を行うわけですが、健全な運営には会員の皆様の建設的なご協力が必要であります。その点何卒よろしくお願いいたします。

秋季総会には50名を越える参加者があり、懇親会にも30名強が参加しました。しかし、もう少し賑やかであってもよかったように思います。来年度の春季大会はゲスト・スピーカーに新歴史主義の泰斗キャサリン・ギャラガー教授を迎えて、早稲田大学で6月16日に行われます。多くの方のご参加をお待ちしております。

既にご承知の通り、ディケンズ生誕200年記念事業として、日本支部でも英語による論文集を出版する予定ですが、このために支部から最大限30万円の補助がなされることが総会で決定されました。また、原英一、佐々木徹、新野緑、松岡光治の4名が編集に当たる旨が報告されました。

なお、支部会計報告については添付ファイルをご参照ください。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部支部長 佐々木徹